

## 【国語／詩・短歌】

～ClassPad.net のテキスト・ファイル・カメラふせん、同時編集機能を活用する～

短歌の解釈を元に物語の創作・グループでの考察を行う。「読みの深化」を目指す授業  
短歌の解釈を元にした物語を創作し、その違いや共通点から短歌の読みを深める。

### 【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：短歌は人によって解釈が違ってくるため、それをもとにした創造物にも違いが生まれることに気づかせる。その上で、短歌の面白さと魅力を再発見させる。

生徒向けの目標：自身で短歌を解釈させ、それを元にした物語の創作をさせる。グループごとの共有・話し合いを経て、その違いや共通点に気づかせることで、読みを深める。

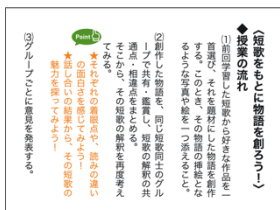
### 【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・協働学習促進：グループワークにおいて生徒間で創作物をスムーズに共有させることができ、話し合いやそのまとめの作業も協力して円滑に行わせることができる。
- ・探究学習促進：短歌の解釈や創作に必要な情報を調べさせる際、信頼に足る情報を EX-word 機能によって得ることができ、それをもとに学びを深化させることができる。
- ・評価／評定を効率化：課題や提出物において、テーマごとにふせんを色分けすることによって公平・効率的な成績づけができる。

## 授業の流れ

## ClassPad.net での操作

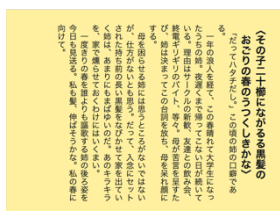
### step1



### 概要の説明

(前回までの授業で、短歌の読解・鑑賞が終わっている状態)  
短歌をもとにした物語の創作→共有・話し合い→発表という授業の流れと、この活動によって短歌の解釈をより深めるといふ活動の意図を伝える。

### step2



### テーマから創作

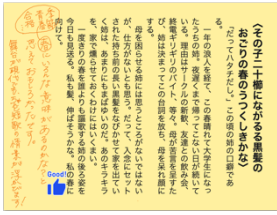
前回までに扱った短歌四首（教師が四首に絞る）より一首を選び、それより着想を得て二百字程度の物語を創作させる。また、その挿画となるような絵や写真も併せて用意させる。

テキストふせんを用いて、物語の創作をする。このとき、選んだ短歌ごとにテキストふせんのカラーを指定する。創作に必要な言葉選びには、Ex-word モードを役立てる。また挿画には、ファイルふせんやカメラふせんを用いる。

※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能はご利用いただけます。



step3

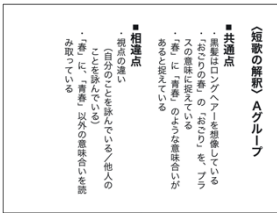


共有

創作した物語を、選んだ短歌ごとにグループを作り共有・鑑賞する。そのうち、その物語を創作するに至った短歌の解釈と創作意図を発表し合う。

送受信機能を用い、テキストふせんとファイル（カメラ）ふせんを共有する。共有されたテキストふせんに、一言程度感想をつけて送り返す。

step4

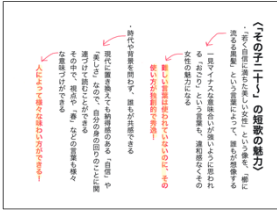


グループで考察

グループで、生徒それぞれの短歌の解釈の共通点・相違点を確認し、着眼点や読みの違いの面白さを味わわせる。またそれをふまえて、その短歌の魅力を再発見させ、グループごとにまとめさせる。

同時編集機能を用いて、グループで出た意見や話し合いの結果をデジタルノートにまとめる。話し合いの際は、step3で共有し合った物語のテキストふせんも適宜参照しながら進める。

step5

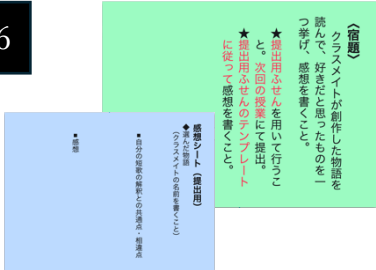


発表

step4までの話し合いの内容を、グループごとに発表する。

発表の際は、step4での話し合いでグループごとにまとめたデジタルノートをクラスで共有し、スクリーンや電子黒板にも投影する。

step6

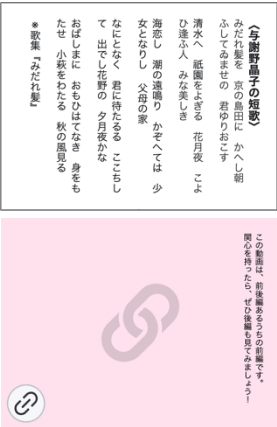


まとめ・宿題

授業内容を振り返ってから、クラスメイトが創作した物語の中から好きだと思ったものを一つ選び、感想を書くという宿題を提示する。

授業の最後に、生徒それぞれが創作した物語のテキストふせんを、送受信機能でクラス全員に共有する。別クラスの生徒の作品も、教員側で優秀なものをピックアップし、配布する。

step7



参考・補足

扱った四首の作者の別の短歌の提示  
実際に短歌を元に創られ、出版された作品の提示

リンクふせん（例：YouTubeの「短歌一期一会チャンネル」内、「情熱の歌人【与謝野晶子】～前半生と愛の短歌～」など）の案内をする。時間に余裕があれば、内容も授業内で確認をする。